

ゲームセンター内での食事問題を解決をする業界初の取り組み

# 『とれたてキャッチャー』

第1弾 本格インドカレーの【IICAチキンコルマカレー】

登場から3か月、累計獲得数777個突破の人気クレーンゲーム台に！



株式会社東洋(本社:埼玉県北本市/代表取締役 中村秀夫)が経営する、1店舗当たりのクレーンゲーム設置台数がギネス世界記録に認定されている「世界一のゲームセンター エブリディ行田店(埼玉県行田市)」で、景品に、入手困難なプレミアムなレトルトカレー【カレー大学IICAチキンコルマカレー】を採用した2018年9月5日から稼働したクレーンゲーム『とれたてキャッチャー』第1弾が、2018年12月5日(水)に、**累計獲得数777個を突破**しました。

通常、クレーンゲームは、同じ景品を使い続けると、人気が落ちて、プレイして頂けなくなりますが、登場から3か月が経過した現在でも、**店内で、獲ったカレーを召し上がって**いる顧客の姿を、コンスタントに見かける人気の台となっております。

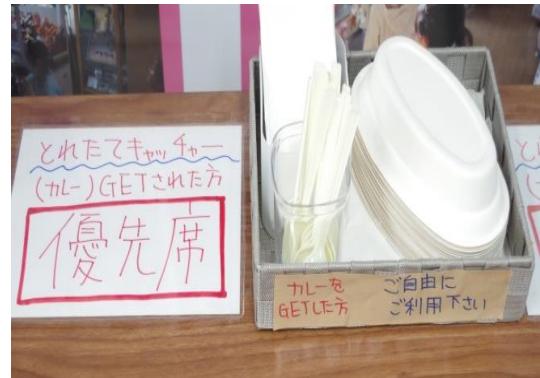
店舗のスタッフ曰く、景品獲得数が『777』とゾロ目なので、出来れば777個目の景品がGETされるのも、7日になればと、数日前から、ちょっとワクワクしたが、そこまで上手くはいかなかった、とのこと。



## 業界初！とれたてキャッチャーって何？

多くのゲームセンターには、**店内で食事が出来る設備などがなく、**有っても、パンや菓子などの自動販売機が置いてあるなどが一般的です。その為、当社でも、『長く遊びたいけれど、空腹になり施設外へ食事をとりに行く』という顧客の声を多く耳にしてきました。

この食事問題解決の為、当社では、電子レンジや紙皿、プラスチック製スプーンなどを用意し、**店内に自由に使って頂ける調理コーナーを設置**しました。これにより、取った景品を自ら温め、休憩コーナーで食事をすることが出来るようになりました。これが**とれたてキャッチャー誕生のきっかけで、ゲームセンター業界初**(※日本クレーンゲーム協会調べ)となる、**新しい取り組み**です。



## 《とれたてキャッチャー 第2弾》

## 10月からは【さつまいもの日】にちなんで、焼き芋が食べられるように！

電子レンジを設置したこと、**店内で自由に使って頂ける調理コーナーが出来た**為、景品で提供できる商品の幅が広がりました。

そこで、10月15日【さつまいもの日】に先駆け登場した、10月12日より登場した、埼玉県産の**生のさつまいもが景品のとれたてキャッチャー第2弾が誕生**し、焼き芋器を新たに用意することで、焼き芋も食べられるようになりました。

こちらの**生のさつまいもが景品のとれたてキャッチャー第2弾**は、【さつまいもの日】について調べている中、**埼玉県NO.1芋農家**による**さつまいも専門店『芋屋TATA』**さんのこと知り、埼玉県産のさつまいもを探していたこともあり、TATAさんの思い(理念)に共感し、芋屋TATAさんから、**埼玉県産の『紅はるか』と『安納芋』**の2品種を、仕入れ、景品に採用させて頂き、**埼玉県産のさつまいものみを使用**しています。

とれたてキャッチャー第2弾の登場から、11月12日までの**1ヶ月間で**、2品種合計で、**100キログラムの生のさつまいもを出荷する**(GETして頂く)など、**地元農産物の地域消費に大きく貢献**しております。

